

保健衛生学科・保健衛生学研究科 海外研修報告会の開催について

2018年10月17日（水）短期海外研修派遣学生による報告会が開催されました。本学プログラムにおいてネパール連邦民主共和国、タイ王国、台湾、アメリカ合衆国、フィンランドの5か国に派遣された27名と個人でボランティアに参加した1名が、それぞれの派遣先での貴重な体験を発表しました。



【派遣先】

○ネパール連邦民主共和国 トリブバン大学	(2018/3/11～2018/3/22) 7名
○タイ王国 チュロンコーン大学	(2018/8/8～2018/8/18) 3名
○台湾 台北医学大学	(2018/8/21～2018/8/30) 3名
○アメリカ ワシントン大学	(2018/8/11～2018/8/28) 6名
○フィンランド セイナヨキ応用科学大学	(2018/2/11～2018/2/24) 10名
	(2018/8/26～2018/9/2) 8名
○他 カンボジアボランティア	(2018/9/7～2018/9/13) 1名

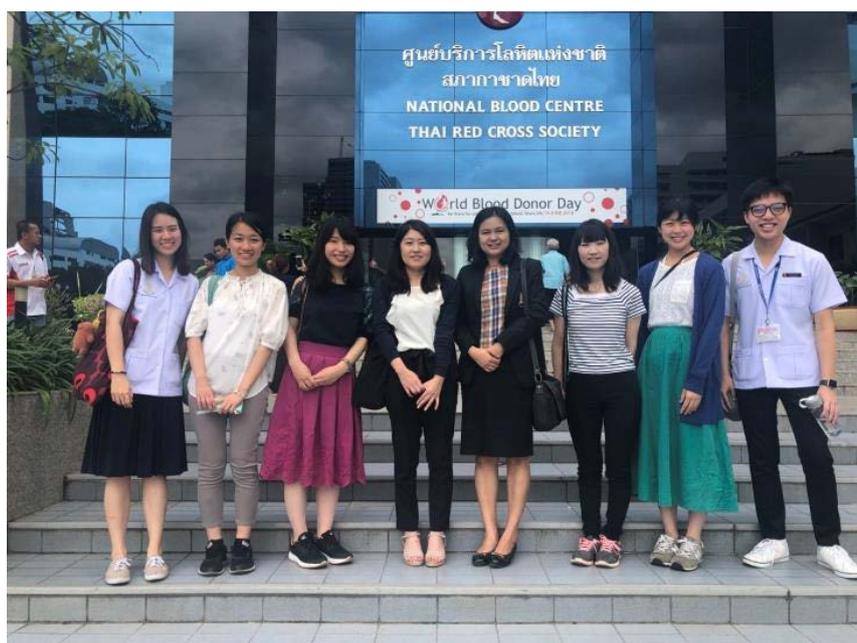
ネパール連邦民主共和国

ポカラ市のトリバン大学看護学部キャンパス、グリーンバスタチュアハンセン病病院、ヘルスポスト他、カトマンズ市内やその郊外の保健医療機関や医療関係教育施設、JICA オフィス、WHO オフィス等の見学・実習、カトマンズ市内の地震被災地見学を行ない、後発開発途上国における保健医療、保健衛生教育について学習しました。



タイ王国

チュロンコン大学保健衛生学部では英語で履修する授業・実習に参加しました。また研究室に所属して臨床検査に関連する研究活動に参加したり、日本文化や東京医科歯科大学、日本における医学・医療等の紹介を通して現地学生との交流も行いました。



台湾

台北医学大学では、大学施設やその他附属病院等関連医療機関の見学・視察、英語での授業参加、学生交流を行いました。



アメリカ合衆国

日系老健施設 Seattle Keiro (Rehabilitation & Care Center)並びに Nikkei Manor (Assisted Living) において、ボランティア活動をしました。また、ワシントン大学病院、ワシントン大学、シアトル大学を訪問し、米国の病院の現状、大学での看護師の教育、ナースプラクティショナーの看護実践や文化の違い等を学びました。



フィンランド

セイナヨキ応用科学大学で講義を受講し、プライマリーヘルスケアクリニック・高齢者ケアホーム等の施設の見学、病院での看護師シャドーウィング等を通し現地でしか得られない貴重な体験をしました。



カンボジア

一般社団法人ボランティアプラットフォームを通じてカンボジアの小学校でボランティア活動をしてきました。



海外研修は、日本では経験できない多くのことを肌で感じることで非常に貴重な機会です。座学だけでなく、現地の方々との交流も留学の醍醐味の一つとなっておりますので、是非、積極的に参加してみてください。